

予算の概要

<>の数値は、前年度との比較

当初予算の全体像

◆ **一般会計の予算額** 410億40百万円 <+18億80百万円、+4.8%>
 扶助費など社会保障関係費の増加、国の経済対策による臨時福祉給付金など補助費等の増加などにより予算規模は増加

◆ **全会計の予算額** 1,227億84百万円 <▲633億23百万円、▲34.0%>
 (特別会計・企業会計を含む)
 競艇事業が企業会計へ移行し、他ボートレース場主催の場外発売の予算計上方法が変更されることに伴い、予算規模は大幅に縮小

一般会計の主な歳入の状況

・ **市税収入** 224億9百万円 <+5億74百万円、+2.6%>
 景気の回復傾向や税制改正などによる個人市民税の増収、箕面森町・彩都地域の新築家屋の増加による固定資産税の増収などにより、市税収入全体は約5億74百万円の増加

・ **国・府支出金** 88億23百万円 <+5億63百万円、+6.8%>
 臨時福祉給付金の給付や北大阪急行南北線延伸に係る鉄軌道詳細設計の着手などに伴い、国庫支出金は約7億60百万円の増加。
 中学校給食室の整備完了などに伴い、府支出金は約1億97百万円の減少

・ **市債** 15億12百万円 <▲7億1百万円、▲31.7%>
 中学校給食室の整備完了などに伴う市債の減少

・ **競艇事業会計繰入金** 6億円 <±0億円、±0.0%>
 収益向上策の強化などにより、前年度と同額の6億円の繰入金を見込む。
 約18百万円を、北大阪急行南北線延伸に係る鉄軌道詳細設計に活用、約5億82百万円を、『北大阪急行南北線延伸整備基金』へ積立

一般会計の主な歳出の状況

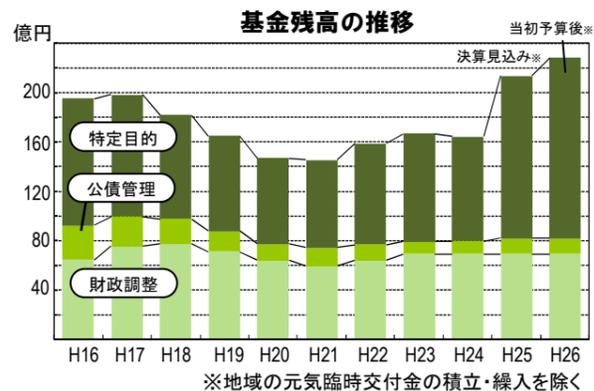
・ **扶助費** 92億70百万円 <+6億円、+6.9%>
 保育所の増設に伴う入所児童数の増加や児童手当の増加など

・ **普通建設事業費(施設整備工事など)** 36億43百万円 <+73百万円、+2.0%>
 全小中学校に電子黒板と校内無線LAN環境を整備、保育所の増設や天井耐震化など改修工事、街路灯・公園灯のLED化など

・ **積立金** 12億80百万円 <+5億5百万円、+65.1%>
 『北大阪急行南北線延伸整備基金』、『学校教育施設整備基金』への積立など

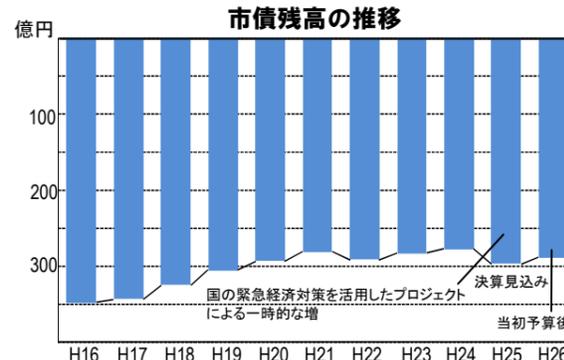
収支バランスの状況

◆ **基金残高** (普通会計ベース) 228億27百万円 <+14億88百万円、+7.0%>



取り崩しを必要最小限度の1億56百万円にとどめる一方、定額運用基金の機能再編や『北大阪急行南北線延伸整備基金』、『学校教育施設整備基金』などへの積立を行った結果、基金残高は14億88百万円増加した。
 (昨年同様、財政調整基金の取り崩しはしない。)

◆ **市債残高** (普通会計ベース) 288億43百万円 <▲8億48百万円、▲2.9%>



北大阪急行南北線延伸に係る詳細設計などのための施設整備事業債(約2億12百万円)や臨時財政対策債(13億円)を発行する一方、約23億60百万円返済した結果、市債残高は約8億48百万円減少した。なお、臨時財政対策債は限度額まで全額発行せず、13億円の発行に抑えている。

◆ **経常収支比率** 94.6% <▲2.5ポイント>

人件費(退職手当)や社会保障関係費が増加したものの、歳出の見直しや経常的な収入の増加により、昨年度から2.5ポイント改善。今回で4年連続の改善、6年連続の経常黒字(経常収支比率100%以下)の達成となる。

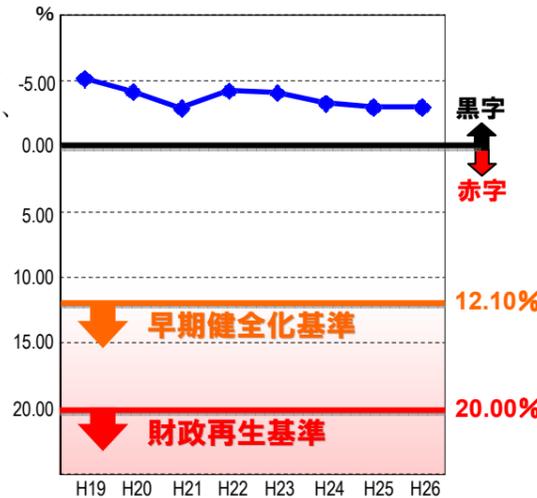


健全化判断比率の状況

平成25年度以前は決算(見込み)、平成26年度は当初予算後の数値による試算。いずれも数値が小さいほど健全。早期健全化基準を超えた団体は、破たん一步手前の状態で、早期に財政の立て直しが必要。(イエローカード) 財政再生基準を超えた団体は、破たん状態とみなされ、国の関与のもと厳しい財政の再建が必要。(レッドカード)

実質赤字比率

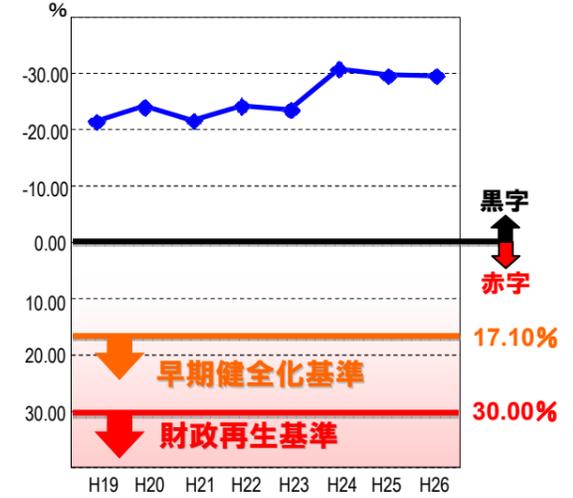
一般会計と特別会計公共用地先行取得事業費の赤字の程度で、財政運営の深刻度を示す。



黒字堅持

連結実質赤字比率

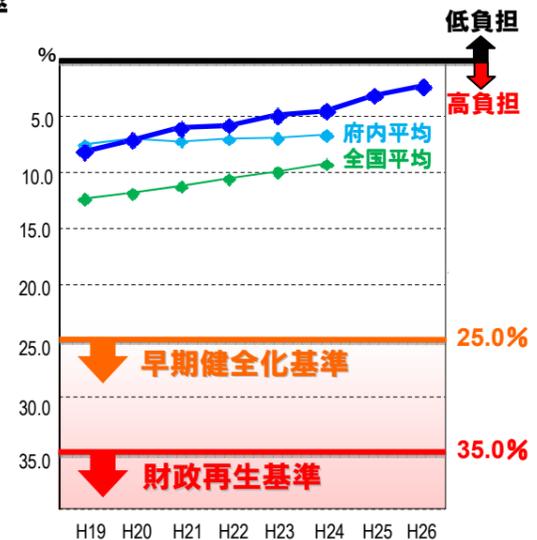
一般会計の他、すべての特別会計、企業会計の赤字や黒字を合算した赤字の程度で、財政運営の深刻度を示す。



黒字堅持

実質公債費比率

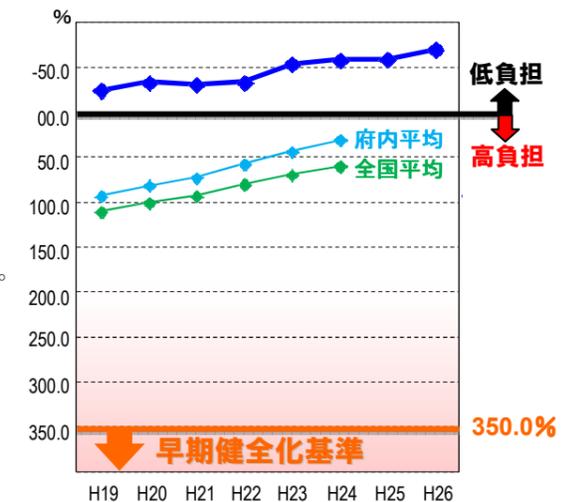
一般会計と特別会計公共用地先行取得事業費の市債の返済額などの大きさと、資金繰りの危険度を示す。



負担軽減

将来負担比率

一般会計と特別会計公共用地先行取得事業費の市債や将来支払う可能性のある負担などの残高の程度で、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す。



負担軽減